



学校教育目標

知・徳・体の調和のとれた人間性、社会性が豊かな子どもの育成

吉田小通信

吉田小の4つのこだわり

 自分からあいさつ 時間を守る 全員でそうじ くつばこの整理北九州市立吉田小学校
校長 上満 佳子

令和7年12月8日 発行 NO.14

人権週間（12月4日～12月10日）に寄せて

早いもので、師走となりました。今月は、後期前半のまとめの大変な時期です。学校での学びの中で、本校のスクールプランにも掲げています「居場所づくり」についても同様に振り返りを行っていきます。

さて、12月4日から10日は、人権週間です。昭和23年（1948年）12月10日、世界が一つになろうという目的でできた国際連合において、「世界人権宣言」が採択されました。この日を人権デーと定めています。吉田小学校では、人権週間の取組として、職員からの話、北九州市人権推進センターが作成している「明日への伝言板」の朗読の紹介を通して、私達の周りにある人権課題について考える機会としてほしいと思っています。学年の発達段階に応じて、放送をもとに各学級で、「人権」について考えます。

学校では、学習時間はじめ学校生活のあらゆる場面で、人権意識の高揚を図る指導を行っています。今年度の夏季休業日には、職員研修として、中学校区で同和部落問題の研修を行いました。子ども達と過ごす教職員が、それぞれ人権感覚を磨いていこうと、テーマを決めて毎年継続して研修を行っています。「確かな人権感覚を育み、人権意識の高揚を図ることをねらいとする人権教育の推進は、本市の教育の重点課題です。本校では、今後もあらゆる場面をとらえながら、個に応じた支援を行い、集団において一人一人の子どもたちに居場所があり、大切にされ、互いの大切さを認め合えるように指導を継続していきます。ご家庭でも同様の働きかけをお願いします。子どもたちの学校生活で何か気になることがありましたら、どうぞご相談ください。

秋ランドへ招待！～幼保小の架け橋～

11月28日（金）、1年生の子ども達が、吉田幼稚園・お宮の里幼稚園・三ツ葉保育園の園児の皆さんを「秋ランド」に招待しました。1年生は、生活科で紅葉した葉、どんぐり、まつぼっくりなど秋見つけをして、それらを使ったおもちゃ作りを行いました。園児を招待することを楽しみにしながら、おもちゃ作りを主体的に進めっていました。当日、三園の園児のみなさんに、手作りのおもちゃで遊んでもらうにあたり、ルールの説明をしたり、看板を作ったりしてはりきって準備していました。当日、体育館は、園児の皆さんも1年生の子ども達も引率の先生方も笑顔でいっぱいになりました。

北九州市では、5歳児のカリキュラムと小1のカリキュラムを一体的にとらえ、地域の幼児教育と小学校教育の関係者が連携・協働して、カリキュラムや教育方法の充実と促進を目指しています。吉田小では、年度初め、三園の代表者と小学校の代表者で、年間のカリキュラムの相談をしています。このような関係づくりが、幼保小のつながりを強固なものにし、子どもの学びや生活の基盤を育んでいくことにつながると思っています。「秋ランド」に招待する活動は、これからも大事にしたい幼保小の架け橋プログラムの一つです。

この活動を支えるものとして、1年生は、2年生からおもちゃランドに招待してもらった楽しい経験があります。2年生から招待してもらった会を思い出しながら、今回は園児の皆さんを招待するという活動につながっています。1年生にとって、園児のみなさんとの交流は、自己肯定感を高めることになりました。



秋ランド 大成功！！